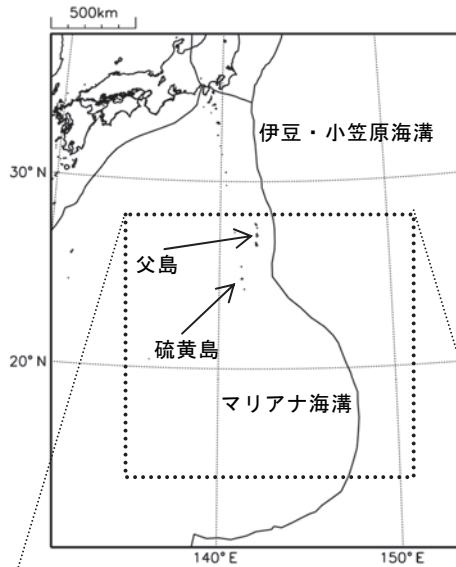
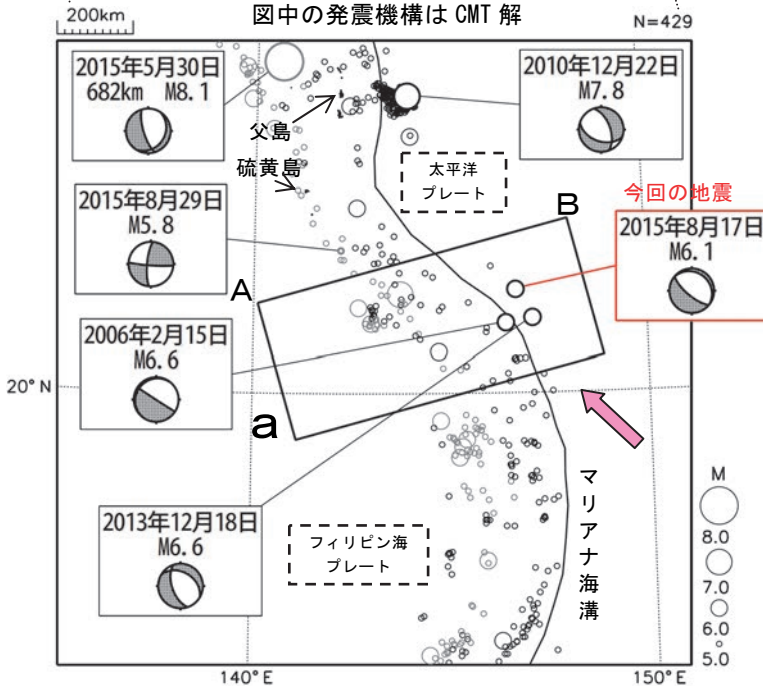


8 月 17 日 硫黄島近海の地震



震央分布図
(2000 年 1 月 1 日～2015 年 8 月 31 日、
深さ 0～700km、 $M \geq 5.0$)
深さ 100km より浅い地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解

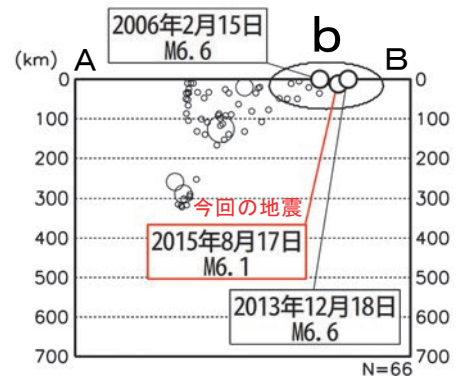


図中の細線は海溝軸を表す
← プレートの進行方向

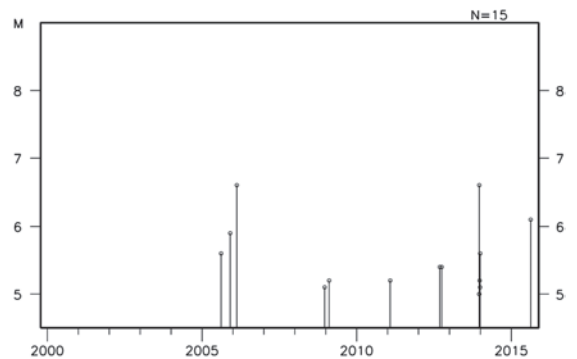
2015 年 8 月 17 日 23 時 42 分に硫黄島近海で $M6.1$ の地震（震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震は、発震機構（CMT 解）が北東－南西方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

2000 年以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b 内）では、 $M6.0$ 以上の地震は 3 回目であった。2006 年 2 月 15 日と 2013 年 12 月 18 日に $M6.6$ の地震（ともに震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生した。

領域 a 内の断面図（A－B 投影）



領域 b 内の M－T 図



※本資料中、震央分布図に発震機構（CMT 解）を示した地震の震源要素と CMT 解は気象庁による。その他の地震の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2015 年 9 月 2 日現在）。プレート境界の位置は Bird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.